

# CDラジオ カセット レコーダー

## 取扱説明書/保証書

CSD-M20

7-CB2-901-01

aiwa

©2017 AIWA CO., LTD Printed in China

| 製品保証書  |                | 持込修理       |
|--|----------------|------------|
| 品名   | CDラジオカセットレコーダー |            |
| 型名   | CSD-M20        |            |
| お買い上げ日   | 年              | 月 日        |
| 保証期間   | お買い上げの日から 1年   |            |
| 本書は、下記記載内容で無料修理を行う事をお約束するものではありません。お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、ご記入の上、修理依頼を申し付けください。   |                |            |
| ●本書は再発行しませんので大切に保管ください。  |                |            |
| お客様  | 様              |            |
| ご住所  | 〒□□□-□□□□      | 電話 □□-□□□□ |
| ●ご販売店様へ<br>お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、保証書はお客様へお返しください。  |                |            |
| 販売店  |                |            |
| 商品、操作方法やトラブルに関するご質問、お問い合わせは<br>アイワお客様ご相談窓口：0570-000-012  |                |            |
| 修理のご依頼及び部品、修理品に関するお問い合わせは<br>アイワ修理ご相談窓口：0570-000-271   |                |            |
| 受付時間：平日9時～17時(土・日・祭日、長期連休を除く)<br>※ナビダイヤルは一部の電話番号でご利用できない場合がございます。  |                |            |
| ホームページ：http://www.aiwa.com/  |                |            |
| アイワ株式会社 東京都品川区東五反田1-1-1 電話 141-0022  |                |            |
| 無料修理規定   |                |            |
| 1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に従い無償修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種類(持込修理/出張修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出が必須となります。<br>なお、受付窓口の種類によって保証書に記載の相談窓口となります。   |                |            |
|  | 種類             | 提示・提出      |
|  | 持込修理           | 修理依頼の際に提示  |
| ●離島およびこれに準ずる遠隔地へ出張修理が必要な場合は、出張に要する実費をいただきます。   |                |            |
| 2. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。<br>(1) 本書の提示が無い場合。<br>(2) 本書に「保証書」がお客様名、販売店名の記入が無い場合、または字句を書き換えられた場合。<br>(3) 保証期間内に発生した故障が保証期間終了後に修理依頼された場合。<br>(4) 使用上の注意(取扱説明書)に貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む修理依頼の故障。<br>(5) お買い上げ後の落下、水濡れなどによる故障・損傷。<br>(6) 火災・地震・雷害・台風・その他天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障・損傷。<br>(7) 一般家庭用以外(業務用)に使用された場合の故障・損傷。<br>(8) 他の機器から受けた障害による修理、不当な修理、改造による故障・損傷。<br>(9) 消耗・摩耗した部品の交換、破損した部分の交換。<br>(10) 故障の状況その他により、修理に変えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。<br>(11) 修理に際しては新品部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社規定の回収方法に適切に処理・処分させていただきます。 |                |            |
| 3. 保証期間中の修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用となります。  |                |            |
| 4. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。  |                |            |
| 5. 記録媒体を搭載または記録する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合があります。記録内容についての保証はいたしません。  |                |            |
| 6. 本書は日本国内のみで有効です。(This warranty is valid only in Japan.)  |                |            |
| 修理メモ   |                |            |
| ●本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。<br>●保証期間経過後の修理につきましては、取扱説明書等をご覧ください。   |                |            |

## 安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはアイワの相談窓口にご相談ください。

### 万一、異常が起きたら

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にご相談しててください。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

|  |   |
|--|---|
|  | この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。          |
|  | この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。           |
|  | この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。 |

| 行為を禁止する記号 | 行為を指示する記号         |
|-----------|-------------------|
| <br>禁止    | <br>プラグをコンセントから抜く |
| <br>分解禁止  |                   |
| <br>接触禁止  |                   |
| <br>ぬれ手禁止 |                   |

## 危険

- 可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない**  
清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

## 警告

- 内部に水や異物を落とさない**  
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にご相談ください。

- 電源コードを傷つけない**  
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
  - 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
  - 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
  - 熱器具に近づけない。加熱しない。電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口に交換をご依頼ください。

- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない**  
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

- 海外では使用しない**  
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない**  
感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

- ぬれた手で電源プラグにさわらない**  
感電の原因となることがあります。

- 通風孔をふさがない**  
布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

## 注意

- 分解・修理・改造はしない**  
感電・火災の原因となります。内部点検・調査及び修正はお買い上げの販売店またはアイワの相談窓口にご依頼ください。

- 移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く**  
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

- お手入れの際、電源プラグを抜く**  
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

- 安定した場所に置く**  
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

- 大音量で長時間つづけて聞きすぎない**  
大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。

- 幼児の手の届かない場所に置く**  
CDふたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

## 電池についての安全上のご注意

**液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。**

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

### 乾電池

アルカリ、マンガン

## 危険 乾電池が液漏れしたとき

**乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない**  
液が本体内部に残ることがあるため、アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

## 警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

## 注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

**調子が悪いときは**  
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

**それでも調子が悪いときは**  
アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

**保証期間中の修理は**  
製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

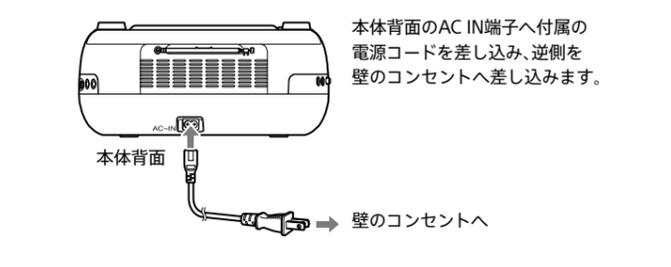
**保証期間経過後の修理は**  
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

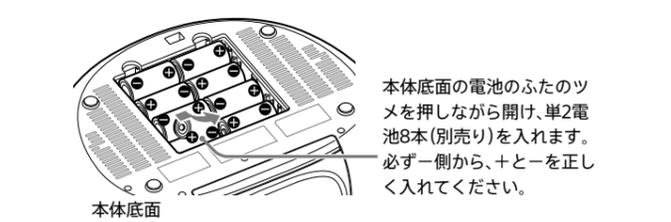
補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

## 電源を準備する

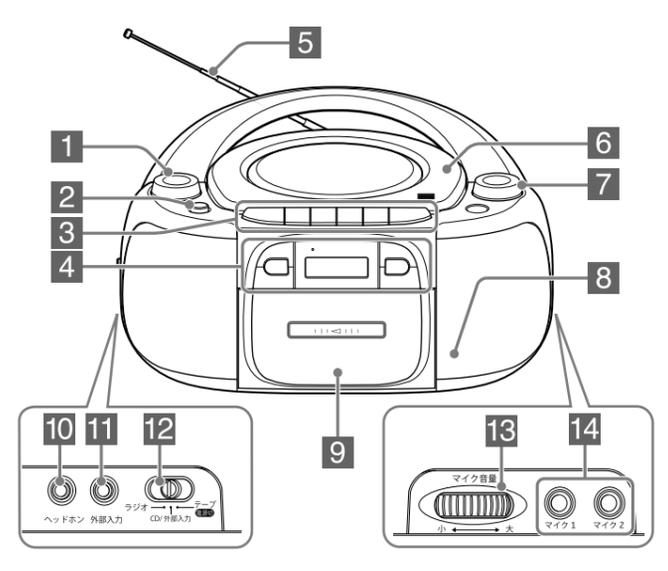
### コンセントに電源コードを接続する



### 乾電池(別売り)を使う



## 各部名称



- 音量調節ダイヤル
- 重低音ボタン
- カセットテープ操作部
- CD/ラジオ操作部
- FMアンテナ
- ディスクトレイ
- 頭出し/選局ダイヤル
- 内蔵マイク
- テープホルダー
- ヘッドホン端子
- 外部入力端子
- 音源切替スイッチ
- マイク音量調節ダイヤル
- マイク入力端子

## CDを聞く

- 音源切替スイッチを「CD/外部入力」に切り替える。



- ディスクトレイの「開/閉」を押してディスクトレイを開け、CDを入れる。

CDの読み込みが始まり、ディスプレイに曲数が表示されます。

- ▶||** (再生) ボタンを押す。1曲目から再生が始まります。再生中に曲を一時停止するには**▶||** (再生) ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度**▶||** (再生) ボタンを押します。停止するには**■▲** (停止) ボタンを押します。

### 曲を送る/戻すには

**▶▶|/|◀◀** (頭出し) ボタンをくり返し押して、お好みの曲番号を選択します。停止中に操作した場合は、**▶||** (再生) ボタンを押すと選択した曲からCDを再生します。頭出しダイヤルでも曲番号を選択できます。

### リピート/ランダム再生をするには

曲を再生中に再生モードボタンを押します。押すたびに、1曲リピート (REP)、全曲リピート (REP ALL)、ランダム (RNDM) 再生が切り替わります。

### プログラム再生するには

- プログラム/決定ボタンを押す。「PROG」と表示され、プログラム設定モードに入ります。
- ▶▶|/|◀◀** (頭出し) ボタンを押す、または頭出しダイヤルを回して曲を選ぶ。
- プログラム/決定ボタンを押す。選択した曲が、プログラムに設定されます。最大20曲まで設定できます。続いてプログラムを設定するには、手順2～3をくり返します。

- プログラム設定が終わったら、**■▲** (停止) ボタンを押す。プログラム再生モードに切り替わります。**▶||** (再生) ボタンを押すと、設定したプログラムの曲順でCDを再生します。

## テープを聞く

- 音源切替スイッチを「テープ」に切り替える。



- ▲** (取出す) ボタンを押してテープホルダーを開け、テープを入れます。

- カセットふた <sup>押す</sup>閉じる を押してカセットふたを閉める。

- ◀** (再生) ボタンを押す。再生が始まります。再生中に曲を一時停止するには**||** (一時停止) ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度**||** (一時停止) ボタンを押します。停止するには **■▲** (停止) ボタンを押します。また、テープが終わると自動で再生を停止します。

### 早送り/巻戻しをするには

**◀◀/▶▶** (早送り/巻戻し) ボタンを押して、お好みのときに **■▲** (停止) ボタンをおします。

| 注意 |
|----|
|----|

- 本機では、60分以下のノーマルテープをご使用ください。

## ラジオを聞く

- 音源切替スイッチを「ラジオ」に切り替える。



- (FM/AM) ボタンを押してFM/AMを選択する。

- 自動選局ボタンを長押しして、自動でプログラム番号を設定する。最大でFM30局、AM20局をプログラムできます。**▶▶|/|◀◀** (選局) ボタンを押して、お好みの放送局を選択します。選局ダイヤルでも、放送局を選択できます。

### 自分でプログラム番号を設定するには

- ▶▶|/|◀◀** (選局) ボタンを長押しする、または選局ダイヤルを回して選局する。
- プログラム/決定ボタンを押す。選択した放送局がプログラムに設定されます。続いて放送局を登録する場合は、手順1、2をくり返します。

## テープに録音する

### CDの曲を録音する

- 音源切替スイッチを「CD/外部入力」に切り替える。
- CDをディスクトレイに入れる。CDの読み込みが始まり、ディスプレイに曲数が表示されます。
- テープホルダーにテープを入れる。

- CDのお好みの曲を選択し、**●** (録音) ボタンと **◀** (再生) ボタンを同時に押す。

- ▶||** (再生) ボタンを押し、CDを再生する。録音を停止するには **■▲** (停止) ボタンを押します。

### ラジオ放送を録音するには

音源切替スイッチを「ラジオ」に切り替えお好みの放送局を選択し、**●** (録音) ボタンと **◀** (再生) ボタンを同時に押します。

### マイクから音声を録音するには

マイク入力端子にマイクを接続して、CDを再生しながら音声をテープに録音できます。マイクの音量は、マイク音量調節ダイヤルで調節します。内蔵マイクで会話を録音することもできます。

## 便利な機能

**重低音再生**
重低音ボタンをおして、低音が効いた再生を楽しむことができます。

**外部音源を聞く**
外部入力端子に、他の音楽プレーヤーを接続することで、音声を本機のスピーカーから聞くことができます。

## 使用上のご注意

#### 録音について

- 録り直しの効かない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本機の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

#### 著作権について

- お客様が録音したものに著作物となるものが含まれている場合、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

#### CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- Dual Discの再生はできません。

#### CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット\*で記録されたCD-R (レコーダブル) およびCD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- \* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

#### 著作権保護技術付き音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク (CD) 規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

#### CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面 (再生面) に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

#### CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

#### 長時間テープをお使いのときは

- 90分を越えるテープは薄く伸びやすいテープです。停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

## 故障かなと思ったら

**電源が入らない**
**➔** 電源コードがAC IN端子とコンセントにしっかりと差し込まれているか、確認してください。
**➔** 乾電池で使うときは、電源コードをAC IN端子から抜いて使用してください。

#### 音が出ない

- ➔** 音源切替スイッチで正しい音源を選択しているか、確認してください。
- ➔** ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていないか、確認してください。
- ➔** 音量調節ダイヤルが最少になっていないか、確認してください。

#### 雑音が入る

- ➔** 近くで携帯電話など電波を発するものを使用しないでください。

#### CDの再生が始まらない

- ➔** ディスクトレイのふたが閉まっているか、確認してください。

#### CDを入れても「no」と表示される

- ➔** CDの文字のある面を上にしていないか確認してください。
- ➔** CDが汚れていないか確認し、汚れていたらきれいにしてください。
- ➔** CD-R、CD-RWを再生する場合、CDがファイナライズ処理されているか確認してください。

#### 録音ができない

- ➔** テープのツメが折れていないか、確認してください。ツメの折れているテープには録音できません。

#### それでも解決しない時は…

- ➔** アイワの相談窓口にご相談ください。

## 主な仕様

|                      |   |
|----------------------|---|
| <b>CDプレーヤー部</b>      |   |
| チャンネル数               | 2チャンネルステレオ  |
| サンプリング周波数            | 44.1 kHz  |
| 再生可能ディスク             | 音楽CD、CD-R/RW (CD-DAフォーマット記録ディスク)                                |
| <b>カセットテープレコーダー部</b> |   |
| トラック方式               | 4トラック、2チャンネルステレオ  |
| 早送り・巻戻し時間            | 約3分 (C60片面)   |
| 推奨テープ                | ノーマルテープ60分以下  |
| <b>ラジオ部</b>          |   |
| 受信周波数                | FM：76～108 MHz (0.1 MHzステップ) FMワイド対応 AM：522～1629 kHz (9 kHzステップ) |
| <b>共通部</b>           |   |
| 電源                   | 家庭用電源 (AC 100 V 50/60 Hz) 単2形乾電池8個使用 (DC 12 V) (別売)             |
| 電池持続時間*1             | (アルカリ乾電池使用時) CD再生時：約8時間、FM受信時：約12時間 テープ再生時：約10時間                |
| スピーカー                | 9 cm (4 Ω) × 2  |
| 実用最大出力               | 1.5 W+1.5 W   |
| 外部入力端子               | 3.5 Φステレオミニ (自動検出)  |
| マイク入力端子              | 6.3 Φモノラル×2   |
| ヘッドホン出力端子            | 3.5 Φステレオミニ   |
| 消費電力                 | 15 W  |
| 最大外形寸法               | 305 mm (幅)×135 mm (高さ)×245 mm (奥行) (突起物は含まない)                   |
| 質量                   | 約2.2 kg (乾電池含まず)  |
| *1                   | JEITA規格による測定値   |
| <b>同梱品</b>           |   |
| 本体 (1)               |   |
| 電源コード (1)            |   |
| 取扱説明書/保証書 (本書)       |   |